

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、膠原病リウマチ内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] PR3-ANCA 陽性 ANCA 関連血管炎患者の鼻・副鼻腔 CT 画像による再発リスク予測

[研究対象者] 1998 年から 2023 年までの間に血液検査で PR3-ANCA (c-ANCA を含む) 陽性かつ、ANCA 関連血管炎と診断された方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、血液検査の結果、治療経過、治療薬の種類、副鼻腔・鼻の CT 画像、再発歴の有無など

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

診療録に記載されている情報や血液検査の結果、鼻・副鼻腔のCT画像をさかのぼって集め、人工知能を用いて解析を行い、鼻・副鼻腔の形における再発の予測因子を検討することを目的としています。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

上記の診療情報等を、下記機関に対して、人工知能を用いて解析を行い、鼻・副鼻腔の形における再発の予測因子を検討するために提供します。

[主な提供方法] ☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☐電子的配信 ☐その他 ()

1. 千葉大学医学部附属病院・アレルギー・膠原病内科・特任准教授 古田 俊介
2. Cambridge University Hospital (イギリス) Consultant in Renal Medicine & Head of Glomerulonephritis, Vasculitis and Lupus Clinic, Department of Internal Medicine IV (Nephrology and Hypertension)
Dr. Andreas Kronbichler
3. Hôpital Cochin (Hôpitaux Universitaires Paris Centre) (フランス) Service de Médecine Interne
MCU-PH Dr. Benjamin Terrier
4. Mount Sinai Hospital (カナダ) Division of Rheumatology associate professor of medicine
Dr. Christian Pagnoux
5. Cambridge University Hospital (イギリス) Vasculitis and Lupus Service Prof David Jayne

[研究実施期間] 研究機関長の許可日より2027年3月までの間 (予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水治

研究責任者：東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科 講師 樋口 智昭

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科 樋口 智昭

電話：03-3353-8111 (応対可能時間：平日 9 時～16 時)